

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (平成 29 年度)

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	11	1	水	10:40	12:00	藤金市民の森	3
活動名称	藤金市民の森 ふしぎいっぱいまつり					報告者：小沼	

<主な活動内容>

イベント活動の場合の参加者数 (120) 人

- 藤小3年生による藤金市民の森を中心とした発表会がありました。
- わがクラブは今年、3年生全員に対し、5月19日・森散策と大谷川での魚取り、7月7日・樹木の名称学習会と森の穴掘り、10月4日藤小教室での学習会（鶴ヶ島の川、魚類調査結果、ホタル）を実施してきました。また、市役所都市整備部から市民の森制度についての説明会が藤小でありました。
- これらの実習や学習会と日頃の森での遊び・観察等を通して市民の森について子どもたちから様々な角度より森の説明・意見・提言がなされました。
- 発表会は全て子どもたちが挨拶、司会等を行い、その後、森内に10か所のブースに分かれ、下記の20種類のテーマについて子どもたち全員が順番に発表するというもので、説明する対象者は子どもたち・参加した親御さん・中央支え合い協議会・わがクラブでした。

<発表テーマ>

- ・市民の森はどんなものか ・市民の森とごみ ・市民の森でできる遊び ・市民の森にある木の種類 ・市民の森にいる生き物について (2) ・大谷川とコイ ・川遊びについて
- ・大谷川について ・市民の森にホタルを増やすには ・市民の森と環境について ・ブラックバスについて ・木のおもちゃ ・竹のおもちゃ ・カナヘビの特徴 ・カマキリ アリの特徴 ・カダヤシの特徴と課題 ・大谷川にいる生き物 ・ホタルの種類 ・ホタルの一生
- これらのテーマは子どもたちで考え、図書館、インターネット等で調べ、説明資材も制作し、一生懸命暗記したものを発表するというもので内容の濃淡はあるものの森を大切にしよう、森にゴミを捨てないようにしようとの発表が多く、正直感動するものとなっていました。
- わがクラブの目的は里山環境を子どもたちに継承することであるのでこのような取り組みを今後も進めていくことが必要であり、他の市民の森でも同様な活動ができればと思います。
- 発表会の最後に活動写真にあるように、3年生全員からお礼の手紙をもらいましたので報告します。

<里山参加会員> 吉井、鈴木、小沼

<活動写真>

